

水俣病の“ネコ供養”

千五百匹の霊をなくさめる

熊本県衛生部と熊本大学医学部では、十五日午後一時から熊本市本荘町の医学部内組織学実習室で“ネコ供養”をする。

これは厚生省食品衛生調査会の水俣中毒部会も“有機水銀説”の結論を出して解散したことだし、

このさい原因究明のための動物実験につかわれたネコの霊を慰めようというもの。

水俣病の原因究明にあたつては、魚貝類を好んで食うネコが人間と同じように水俣病にかかるので、医学部のほとんどの教室がモルモット代わりにネコを実験台につかった。その数は三十一年から現在まで千五百匹を下るまいといわれている。十五日には仏式でしめやかな供養が行なわれる。